

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-86533(P2008-86533A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2006-270186(P2006-270186)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月11日(2009.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域を有する遊技盤を備え、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を当該遊技領域にて流下させる弾球遊技において所定の条件が満たされたときに、遊技者に有利な特別遊技を行う遊技機であって、

前記遊技領域に形成され、遊技球の通過または受け入れが可能な開放口と、

複数の図柄から構成される図柄列が表示され、水平方向を長手方向とする長方形の画像表示領域を有する画像表示装置と、

所定の演出または抽選を行う役物と、

前記開放口への遊技球の通過または受け入れを検出する開放口検出手段、

前記開放口検出手段により前記開放口への遊技球の通過または受け入れがあった旨が検出されたことに応じて内部的な抽選処理を行う抽選手段、および

前記抽選手段による内部的な抽選処理の結果に基づいて前記画像表示領域に表示される前記複数の図柄の表示制御を行う画像表示制御手段、

を少なくとも有する遊技制御手段と、

を備え、

前記役物は、前記画像表示領域の一部を覆潰することによって当該画像表示領域を視認可能な可視領域を異形形成すると共に、

前記画像表示制御手段は、前記図柄列を、前記異形形成された可視領域に沿って表示制御する図柄列変動制御手段を有する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記役物は、複数の選択口が周方向に沿って設けられる円形状のものであると共に、当該画像表示領域の一の角部と、当該一の角部を形成する長辺の一部と、当該一の角部を形成する短辺の半分以上と、を含む領域を覆潰しており、

前記画像表示制御手段は、前記長手方向に沿って複数の前記図柄列を並べると共に、当該図柄列を構成する図柄を、変動表示期間の全期間に亘って前記長手方向の長さよりも長くなる方向に移動するように表示制御する図柄変動制御手段、

を有する

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記画像表示制御手段は、前記複数の図柄が移動表示されるに際し、当該移動方向に沿って当該図柄が大きくなるように表示制御することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するための本発明に係る遊技機は、遊技領域を有する遊技盤を備え、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を当該遊技領域にて流下させる弾球遊技において所定の条件が満たされたときに、遊技者に有利な特別遊技を行う遊技機であって、前記遊技領域に形成され、遊技球の通過または受け入れが可能な開放口と、複数の図柄から構成される図柄列が表示され、水平方向を長手方向とする長方形の画像表示領域を有する画像表示装置と、所定の演出または抽選を行う役物と、前記開放口への遊技球の通過または受け入れを検出する開放口検出手段、前記開放口検出手段により前記開放口への遊技球の通過または受け入れがあった旨が検出されたことに応じて内部的な抽選処理を行う抽選手段、および前記抽選手段による内部的な抽選処理の結果に基づいて前記画像表示領域に表示される前記複数の図柄の表示制御を行う画像表示制御手段、を少なくとも有する遊技制御手段と、を備え、前記役物は、前記画像表示領域の一部を覆潰することによって当該画像表示領域を視認可能な可視領域を異形形成すると共に、前記画像表示制御手段は、前記図柄列を、前記異形形成された可視領域に沿って表示制御する図柄列変動制御手段を有することを特徴とする。